

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月31日

上場会社名 京成電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9009 URL <https://www.keisei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・IR課長 (氏名) 浅岡 祐介 TEL 047-712-7100
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	80,297	10.8	12,584	64.4	17,755	28.4	13,317	25.4
2024年3月期第1四半期	72,466	21.3	7,653	138.9	13,831	132.5	10,622	142.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 13,577百万円(8.5%) 2024年3月期第1四半期 12,511百万円(133.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	81.96	—
2024年3月期第1四半期	63.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,016,940	478,310	45.3
2024年3月期	1,064,202	469,157	42.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 460,325百万円 2024年3月期 451,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	13.00	—	26.00	39.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	337,600	13.9	33,700	33.5	58,100	12.6	47,000	△46.4
								289.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	172,411,185株	2024年3月期	172,411,185株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	10,030,497株	2024年3月期	9,870,953株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	162,500,360株	2024年3月期1Q	167,482,560株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は異なる結果となる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は、当四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. 決算補足説明資料	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は総じてみれば改善しているものの、雇用環境の変化に加え、円安や物価上昇の影響により、個人消費は持ち直しに足踏みがみられるなど、緩やかな回復となりました。

このような状況の中で、当社グループは、中期経営計画「D1プラン」(2022～2024年度)において、「コロナ禍による低迷から成長軌道へと回帰するとともに、長期ビジョン実現に向けた経営推進体制を整備する」を中期経営目標として掲げ、諸施策を推進してまいりました。

以上の結果、営業収益は802億9千7百万円(前年同期比10.8%増)となり、営業利益は125億8千4百万円(前年同期比64.4%増)となりました。経常利益は、177億5千5百万円(前年同期比28.4%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は133億1千7百万円(前年同期比25.4%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

鉄道事業では、鉄道事業法に基づき、当社と新京成電鉄株式会社の鉄道事業の合併認可申請を行い、2025年4月1日を実施日として認可を受けました。また、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、勝田駅南口エレベーターの供用を開始したほか、京成高砂駅、青砥駅、鬼越駅のホームドア整備を推進いたしました。安全輸送確保の取り組みとして、高架橋及び駅の耐震補強工事等を進めました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化事業において、仮下り線工事を推進したほか、本線荒川橋梁架替事業等、各種工事を推進いたしました。また、成田空港の機能強化に伴う輸送力の強化に向けて、宗吾車両基地の新工場建設工事を推進いたしました。

営業面では、海外プロモーションの強化として、海外の航空会社と連携した各種施策を実施したほか、台湾桃園市を本拠地とする球団の試合に協賛し、スカイライナー周知を実施いたしました。また、インターネット広告の活用等、インバウンドを中心に回復した輸送需要の着実な取り込みを図りました。さらに、6月には、スカイライナーご利用者5000万人達成を記念して成田空港駅にフォトスポットの設置等を実施いたしました。このほか、地域活性化の取り組みとして、酒々井町のふるさと納税返礼品として運転士養成・運転シミュレータ体験プログラムを提供したほか、成田市等と連携し初代の成田空港駅である東成田駅にてイベントを開催いたしました。

バス事業では、高速バス路線において、「東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテル」へ乗り入れを開始いたしました。また、需要の動向を踏まえ、減便していた路線の運行の一部再開や既存路線の増便を実施したほか、ゴールデンウィーク等において臨時便の運行を積極的に行うなど、収益の拡大に努めました。一般乗合バス路線においては、需要の変化に応じたダイヤ改正等を実施したほか、関東鉄道グループ路線バス全線において、バスロケーションサービスを導入し、利便性の向上を図りました。

タクシー事業では、回復した需要の着実な取り込みを図りました。また、環境への取り組みとして、帝都自動車交通株式会社において、EV(電気自動車)車両を導入するなど、各種施策を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は489億3千6百万円(前年同期比13.0%増)となり、営業利益は81億5千7百万円(前年同期比92.4%増)となりました。

<流通業>

ストア業では、株式会社京成ストアにおいて、子育て世代やシニア世代に向けた優待企画の実施日を拡大したほか、ネットスーパーの利用者拡大に向けたキャンペーンを実施いたしました。

その他流通業では、京成バラ園芸株式会社において、春バラのシーズンに合わせ、パレードやキャラクターグリーティングを実施したほか、アトラクションをリニューアルするなど、集客及び収益の拡大に努めました。また、環境への取り組みとして、ユアエルム成田店において、実質再生可能エネルギー比率100%の電力を導入いたしました。

以上の結果、営業収益は144億1千1百万円（前年同期比3.0%増）となり、営業利益は3億3千万円（前年同期比29.4%増）となりました。

<不動産業>

不動産賃貸業では、足立区千住河原町において賃貸住宅の建設工事を推進したほか、新鎌ヶ谷駅前の商業施設の建設工事に着手いたしました。また、沿線活性化に向け、都内エリアの賃貸住宅9物件を取得いたしました。

不動産販売業では、今年度末に引き渡し開始予定の中高層住宅「プレミスト千葉公園」を販売いたしました。

このほか、環境への取り組みとして、ZEH-M認定物件の取得及び開発を推進いたしました。

以上の結果、営業収益は79億6千2百万円（前年同期比1.0%増）となり、営業利益は29億9千2百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

<レジャー・サービス業>

レジャー・サービス業では、インバウンドを中心に回復した需要の着実な取り込みを図りました。ホテル業では、需要に応じた価格設定や海外の旅行代理店への営業強化による団体客の誘致、各種宴会プランの実施等により収益の確保に努めました。また、「筑波山京成ホテル」において、近隣の観光施設と連携した宿泊プランを販売いたしました。さらに、京成トラベルサービス株式会社において、グループ各社のバスツアーを同社に集約し、1年が経過したことを記念して、特別ツアーを販売いたしました。

以上の結果、営業収益は42億4千万円（前年同期比22.2%増）となり、営業利益は3億7千4百万円（前年同期は営業損失9千1百万円）となりました。

<建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事等を実施したほか、共同企業体による大規模工事への参入や当社グループ外への積極的な営業活動により、受注拡大に努めました。

以上の結果、営業収益は81億5千万円（前年同期比19.5%増）となり、営業利益は6億6千2百万円（前年同期比57.9%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産合計は、前期末比472億6千1百万円（4.4%）減の1兆169億4千万円となりました。これは、「現金及び預金」が減少したことによるものです。

負債合計は、前期末比564億1千4百万円（9.5%）減の5,386億2千9百万円となりました。これは、「未払法人税等」が減少したことによるものです。

純資産合計は、前期末比91億5千2百万円（2.0%）増の4,783億1千万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想については、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、2024年4月26日に公表した数値を据え置いております。

今後の動向を踏まえ、連結業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,459	36,829
受取手形、売掛金及び契約資産	31,755	31,208
分譲土地建物	8,013	8,988
商品	2,255	2,365
仕掛品	109	249
原材料及び貯蔵品	4,235	4,339
その他	15,365	14,255
貸倒引当金	△29	△23
流動資産合計	144,165	98,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	326,722	324,804
機械装置及び運搬具（純額）	30,422	30,468
土地	217,725	218,768
リース資産（純額）	28,910	28,118
建設仮勘定	51,348	51,923
その他（純額）	4,804	4,453
有形固定資産合計	659,935	658,536
無形固定資産		
リース資産	1,220	1,178
その他	11,090	10,814
無形固定資産合計	12,310	11,992
投資その他の資産		
投資有価証券	225,591	226,499
長期貸付金	182	197
退職給付に係る資産	176	175
繰延税金資産	17,012	16,429
その他	4,509	4,598
貸倒引当金	△184	△184
投資その他の資産合計	247,286	247,715
固定資産合計	919,533	918,244
繰延資産	502	482
資産合計	1,064,202	1,016,940

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,461	16,083
短期借入金	69,194	67,443
1年内償還予定の社債	10,150	10,150
リース債務	4,856	4,777
未払法人税等	30,925	3,215
賞与引当金	4,225	3,177
その他	78,945	77,209
流動負債合計	223,759	182,058
固定負債		
社債	120,300	120,300
長期借入金	140,237	127,272
鉄道・運輸機構長期未払金	33,645	33,645
リース債務	19,957	19,219
繰延税金負債	2,713	2,472
退職給付に係る負債	39,870	39,143
その他	14,560	14,517
固定負債合計	371,284	356,571
負債合計	595,044	538,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	34,404	34,404
利益剰余金	419,309	428,364
自己株式	△45,171	△45,171
株主資本合計	445,345	454,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,851	5,870
退職給付に係る調整累計額	△575	53
その他の包括利益累計額合計	6,276	5,923
非支配株主持分	17,535	17,985
純資産合計	469,157	478,310
負債純資産合計	1,064,202	1,016,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
営業収益	72,466	80,297
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	52,998	55,241
販売費及び一般管理費	11,814	12,471
営業費合計	64,812	67,712
営業利益	7,653	12,584
営業外収益		
受取利息	73	50
受取配当金	130	202
持分法による投資利益	5,926	5,022
雑収入	954	714
営業外収益合計	7,084	5,990
営業外費用		
支払利息	626	625
雑支出	279	194
営業外費用合計	906	819
経常利益	13,831	17,755
特別利益		
工事負担金等受入額	49	181
固定資産売却益	73	3
その他	13	33
特別利益合計	135	218
特別損失		
固定資産圧縮損	33	106
固定資産除却損	37	10
減損損失	165	—
固定資産権利変換損	84	—
特別損失合計	320	117
税金等調整前四半期純利益	13,646	17,856
法人税、住民税及び事業税	2,561	3,550
法人税等調整額	28	375
法人税等合計	2,589	3,925
四半期純利益	11,056	13,931
非支配株主に帰属する四半期純利益	433	613
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,622	13,317

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
四半期純利益	11,056	13,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	957	△743
退職給付に係る調整額	51	652
持分法適用会社に対する持分相当額	446	△261
その他の包括利益合計	1,455	△353
四半期包括利益	12,511	13,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,076	12,964
非支配株主に係る四半期包括利益	435	613

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	43,102	13,901	5,961	2,764	5,576	1,158	72,466	—	72,466
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	187	89	1,923	705	1,242	833	4,983	△4,983	—
計	43,290	13,991	7,885	3,470	6,819	1,992	77,449	△4,983	72,466
セグメント利益又は損失(△)	4,238	255	2,837	△91	419	15	7,674	△21	7,653

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	48,830	14,325	6,170	3,121	6,319	1,529	80,297	—	80,297
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	106	85	1,792	1,118	1,830	822	5,756	△5,756	—
計	48,936	14,411	7,962	4,240	8,150	2,352	86,053	△5,756	80,297
セグメント利益	8,157	330	2,992	374	662	70	12,588	△3	12,584

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	8,121百万円	7,915百万円

3. 決算補足説明資料

I 連結損益計算書

・インバウンド需要の増大に伴う運輸業における成田空港輸送の増加等により、増収増益
 ・持分法による投資利益の減少

単位:百万円、%		2023.1Q 実績	2024.1Q 実績	増減	率
運輸業	営業収益	43,290	48,936	5,646	13.0
	営業利益	4,238	8,157	3,918	92.4
流通業	営業収益	13,991	14,411	419	3.0
	営業利益	255	330	74	29.4
不動産業	営業収益	7,885	7,962	77	1.0
	営業利益	2,837	2,992	155	5.5
レジャー・サービス業	営業収益	3,470	4,240	769	22.2
	営業利益	△ 91	374	465	-
建設業	営業収益	6,819	8,150	1,330	19.5
	営業利益	419	662	242	57.9
その他の事業	営業収益	1,992	2,352	360	18.1
	営業利益	15	70	55	365.7
小計	営業収益	77,449	86,053	8,604	11.1
	営業利益	7,674	12,588	4,913	64.0
連結修正	営業収益	△ 4,983	△ 5,756	△ 773	-
	営業利益	△ 21	△ 3	17	-
連結	営業収益	72,466	80,297	7,831	10.8
	営業利益	7,653	12,584	4,930	64.4
営業外収益		7,084	5,990	△ 1,093	△ 15.4
営業外費用		906	819	△ 86	△ 9.6
経常利益		13,831	17,755	3,923	28.4
特別利益		135	218	83	61.9
特別損失		320	117	△ 202	△ 63.4
税金等調整前四半期純利益		13,646	17,856	4,210	30.9
法人税	法人税等	2,561	3,550	989	38.6
	同調整額	28	375	346	-
	計	2,589	3,925	1,335	51.6
四半期純利益		11,056	13,931	2,874	26.0
非支配株主に帰属する四半期純利益		433	613	179	41.3
親会社株主に帰属する四半期純利益		10,622	13,317	2,695	25.4

営業外収益

持分法による投資利益

5,926

5,022

Ⅰ主要セグメントの内訳

・運輸業

単位:百万円、%		2023.1Q 実績	2024.1Q 実績	増減	率
鉄道事業	営業収益	21,879	25,420	3,540	16.2
	営業利益	3,037	6,229	3,192	105.1
バス事業	営業収益	13,520	14,899	1,379	10.2
	営業利益	825	1,652	826	100.2
タクシー事業	営業収益	7,890	8,616	726	9.2
	営業利益	376	275	△100	△26.6
運輸業	営業収益	43,290	48,936	5,646	13.0
	営業利益	4,238	8,157	3,918	92.4

・流通業

単位:百万円、%		2023.1Q 実績	2024.1Q 実績	増減	率
ストア業	営業収益	9,942	10,369	427	4.3
	営業利益	111	174	63	57.0
百貨店業	営業収益	2,510	2,494	△16	△0.6
	営業利益	△37	△59	△22	-
その他	営業収益	1,538	1,547	8	0.6
	営業利益	180	215	34	18.8
流通業	営業収益	13,991	14,411	419	3.0
	営業利益	255	330	74	29.4

・不動産業

単位:百万円、%		2023.1Q 実績	2024.1Q 実績	増減	率
賃貸業	営業収益	6,321	6,450	129	2.0
	営業利益	2,742	2,870	127	4.7
販売業	営業収益	108	10	△97	△90.3
	営業利益	△22	△24	△2	-
管理業	営業収益	1,455	1,500	45	3.1
	営業利益	117	146	29	25.1
不動産業	営業収益	7,885	7,962	77	1.0
	営業利益	2,837	2,992	155	5.5

■鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

単位:千人、百万円、%		2023.1Q 実績	2024.1Q 実績	増減	率	[参考] 新京成電鉄(株) 2024.1Q実績
輸送人員	定期	39,753	41,375	1,622	4.1	15,995
	定期外	29,493	31,807	2,314	7.8	9,074
	計	69,246	73,182	3,936	5.7	25,069
	うち成田空港発着	(4,762)	(6,310)	(1,548)	(32.5)	—
	うち有料特急	(1,509)	(2,150)	(641)	(42.5)	—
旅客運輸収入	定期	4,708	5,109	400	8.5	1,400
	定期外	10,620	13,114	2,493	23.5	1,518
	計	15,329	18,223	2,893	18.9	2,918
	うち成田空港発着	(4,999)	(7,016)	(2,017)	(40.4)	—
	うち有料特急	(1,503)	(2,165)	(661)	(44.0)	—

[参考] 2019年度との比較

単位:千人、百万円、%		2019.1Q 実績	2024.1Q 実績	増減	率
輸送人員	定期	44,792	41,375	△ 3,417	△7.6
	定期外	30,911	31,807	896	2.9
	計	75,703	73,182	△ 2,521	△3.3
	うち成田空港発着	(5,555)	(6,310)	(755)	(13.6)
	うち有料特急	(1,571)	(2,150)	(579)	(36.9)
旅客運輸収入	定期	5,512	5,109	△ 403	△7.3
	定期外	11,277	13,114	1,836	16.3
	計	16,790	18,223	1,433	8.5
	うち成田空港発着	(5,434)	(7,016)	(1,581)	(29.1)
	うち有料特急	(1,493)	(2,165)	(671)	(45.0)

以上